

母が
石岡市
出身です♪



Nakamasagas代表
文化庁派遣支援員
茨城県まちづくりアドバイザー
(一社)日本経営協会 講師
(公社)全国公立文化施設協会
コーディネーター
株式会社カゼグミ
シティプロモーション・
広報ディレクター
シティプロモーションアワード
実行委員会委員



誰もが利用したくなる、 来たくなるホール

2024年11月24日 石岡市

(公社) 全国公立文化施設協会コーディネーター

中本正樹

全国の自治体の先生をしています

専門:政策形成、シティプロモーション、広報、地域ブランディング、
移住・定住、市民協働、公立文化施設活性化、地域活性化

■ 近年の講演・研修実績(年内予定も含む)

全国町村議長会、北海道文化財団、青森県東北町、岩手県庁、二戸市、平泉町、福島県いわき市、茨城県庁、水戸市、石岡市、常総広域(5市)、東海村、栃木県足利市、野木町議会、埼玉県北本市、杉戸町、東京都中央区、葛飾区、小平市、多摩市、神奈川県平塚市、愛知県長久手市、武豊町、京都府福知山市、福知山市議会、大阪府豊中市、八尾市、長崎県佐世保市、熊本県熊本市、宮崎県町村議長会、中小企業基盤整備機構、静岡県志太榛原地区広報研究会、茨城大学、茨城キリスト教大学、東京都市大学、鳥取大学、牛久栄進高校、中央高校、美野里中、(公社)全国公立文化施設協会、(一財)地域創造、(一社)日本経営協会、(一財)地域活性化センター、関東自主研サミット、公共コミュニケーション学会茨城部会、NPOまちづくり協会、水戸市政策研究会、STONY(茨城県西・栃木県職員広域勉強会)、土浦市職員自主研究会、龍ヶ崎市職員自主研究会、茨城県介護老人保健施設協会、(一社)茨城県介護支援専門員協会、地方公務員サロンHOLG、第3回全国ヨーグルトサミットin岩手シンポジウム、FOOD展2021、広島県三次市DMO、自治体総合フェア2024、ツナグ茨城、東北OM

■ 主な受賞歴

2022年 全国初の「シティプロモーションアワード」金賞(最高位)
2022年 全国広報コンクール広報紙部門入選(全国トップ5)
2019年 全国広報コンクール映像部門特選・総務大臣賞(日本一)
2009年 地域創造大賞・総務大臣賞
2000年 対話型行政推進賞(建設省)

■ 現役時代の主な実績

美野里町第4次総合計画後期基本計画策定
小美玉市第1期・第2期総合戦略策定／シティプロモーション「ダイヤモンドシティ小美玉」立ち上げ
全国ヨーグルトサミット立ち上げ／小美玉市四季文化館みの〜れ立ち上げ
小川文化センターアピオス改革／広報おみたまりリニューアル／おみたマガジンリニューアル
茨城大学ゲストスピーカー(2020〜)／オンライン市役所庁内放送パーソナリティ(2022)

■ コミュニティ

公共コミュニケーション学会会員
公共コミュニケーション学会
茨城部会世話人(2018〜)
小美玉オフサイトミーティングメンバー
水戸市政策研究会会員
みの〜れ住民劇団Myu脚本・広報



#対話デザイン
#コミュニケーション
#ファシリテーション
#チームビルディング
#リーダーシップ
#マネジメント
#セルフマネジメント
#ウェルビーイング

というような横文字を
分かりやすく解説し、
主体的・対話的で
深い学びに導きます





中本正樹 元 茨城県小美玉市職員



■ 20代:みの〜れで対話の文化を学ぶ

みの〜れ:対話の文化を育む、住民参画型の文化センター。

600席と250席を14チーム250人の住民が企画運営。

■ 30代:合併先の文化センターアピオスを改革

アピオス:開館27年目に対話の文化を注入。14.7%→78.0%に。

1200席と250席を5チーム60人の住民が企画運営。

■ 30代後半:庁内若手職員に対話の文化を注入

■ 40代:住民主体のシティプロモーション

全国初のヨーグルトサミット

対話の文化で住民49人と企画運営。39,000人集客

対話の文化=官民共創 ▶ 多分野で実践





本日の流れ



1. 文化ホールの歴史と役割

- 全国の文化ホールはこれからどこへ向かうか

2. 文化ホールがもたらすもの

- 四季文化館みの～れから広がる成果
- 参考にしたい全国の事例





1-1.文化ホールの歴史



文化ホールの歴史



—— 集会・講演会が主目的 ——

1918年(大正7年) 大阪市中央公会堂
1929年(昭和4年) 日比谷公会堂

—— オーケストラ／オペラ・バレエ対応 ——

1961年(昭和36年) 群馬音楽センター
1961年(昭和36年) 東京文化会館

1967年 国の補助制度が整備される
■ 地方にもホールができるきっかけとなった



1968年 旧石岡市民会館 開館(4月29日)

ヨーロッパでは
交響楽団や
オペラなど
地元の文化を
よりよく上演する
ためにホールを
造ったそうです





文化ホールの歴史



— モノの豊かさからココロの豊かさの時代へ —

1970年代 地方文化の時代の提唱

「自治体が文化行政に取り組む」▶ 実態は…

作品を創るのは民間。公共ホールは単なる貸館

— 市の広告塔として建設されまくった市民会館 —

1980-90年代 文化ホール建設ラッシュ

■ バブル景気(1986-1991年)の崩壊

■ 利用率の低さ、集客の少なさ、事業や運営を考えない
行政の姿勢に世論の厳しい目

この「仏つくって
魂入れず」が、
文化ホールや
市民会館は
「有名人を観に
行くところ」という
認識になった





文化ホールの歴史



—— (財)地域創造と文化庁による支援 ——

1994年 (財)地域創造 設立(自治省)

■ 自主事業への財政支援

■ **ホールスタッフ実践的研修**(ステージラボほか)

文化庁でも地域の文化芸術活動支援を開始



ステージラボ長崎

—— 専門ホールを中心に創造活動スタート ——

例:水戸芸術館……………日本初の芸術監督採用。1%文化予算

伊丹アイホール……………民間プロデューサー登用

彩の国さいたま芸術劇場…芸術監督 蜷川幸雄

金沢市民芸術村……………24時間活用できる練習型専用施設





文化ホールの歴史



—— 文化政策が何を生むかが問われる時代 ——

2000年代 自治体財政状況悪化

→ 地域活性化、住民参加・参画、住民の創造拠点

■ 小美玉市四季文化館みの～れ

住む人が「つどう・つなぐ・つくる」3つの“つ”をミッションとし、住民参加・参画・主体の運営を実践

■ えずこホール（宮城県大河原町：広域事務組合）

住民創造グループが多数存在。アウトリーチも実践

■ 武豊町民会館（愛知県武豊町）

近隣5市5町と「知多半島春の音楽祭」を実現

指定管理・市町村合併→文化の“振興”から“活用”へ



四季文化館みの～れ





文化ホールの歴史



—— 文化政策が何を生むかが問われる時代 ——

2012年 劇場法

- 「新しい広場」として、
地域コミュニティの創造と再生を通じて
地域の発展を支える
- 国際交流の円滑化を図り、
国際社会の発展に寄与する「世界への窓」
- 個人を含め社会全体が文化芸術の担い手だと
国民が認識するように劇場・音楽堂等を設置
- 団体・芸術家、国、地方公共団体、教育機関等が
相互連携協力して取り組むこと





文化ホールの歴史



—— 文化政策が何を生むかが問われる時代 ——

2017年 **文化芸術基本法**に改正 (旧 文化芸術振興基本法)

- 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業など
他分野に、文化芸術で生まれる価値を波及

→ **ここ、説明できます？**

- 団体の役割、連携・協働
- 推進会議

→ 商工会、社協、農協、観光、学校、地域NPO等

- 推進計画

→ 新文化ホールのミッション(使命)

→ 他分野にどのように波及していくかを書いた計画





1-2.文化ホール役割



文化ホールの役割



地域にどんな変化・成長をもたらすか、を考える

①施設提供(貸館)

できませんではなく
代替案を提案

サービス&アドバイス





文化ホールの役割



地域にどんな変化・成長をもたらすか、を考える



②鑑賞・体験

鑑賞・体験する
機会を提供

誰のため・何のため



文化ホール1.0 一般的なイメージ



①施設提供(貸館)

できませんではなく
代替案を提案

サービス&アドバイス

②鑑賞・体験

鑑賞・体験する
機会を提供

誰のため・何のため

⑤新しい広場

常に関われ、多様な
交流を生む場

文化的コモンズ

③育成

表現者、裏方、
団体を支援する

住民が能動的に関与

④創造

地域題材を共有・
編集し創造発信

創造過程で人が成長

⑥世界への窓

大所高所の視座で
ローカルを考える

多様性・寛容性



文化ホールの役割



地域にどんな変化・成長をもたらすか、を考える



③ 育成

表現者、裏方、
団体を支援する

住民が能動的に関与





文化ホールの役割



地域にどんな変化・成長をもたらすか、を考える



④ 創造

地域題材を共有・
編集し創造発信

創る過程で人が成長





文化ホール1.0 一般的なイメージ

文化ホール2.0 文化のまちづくり

①施設提供(貸館)

できませんではなく
代替案を提案

サービス&アドバイス

②鑑賞・体験

鑑賞・体験する
機会を提供

誰のため・何のため

⑤新しい広場

常に開かれ、多様な
交流を生む場

文化的コモンズ

③育成

表現者、裏方、
団体を支援する

住民が能動的に関与

④創造

地域題材を共有・
編集し創造発信

創造過程で人が成長

⑥世界への窓

大所高所の視座で
ローカルを考える

多様性・寛容性



文化ホールの役割



地域にどんな変化・成長をもたらすか、を考える



⑤新しい広場

常に開かれ、多様な
交流を生む場

文化的コモンズ





文化ホールの役割



地域にどんな変化・成長をもたらすか、を考える



⑥ 世界への窓

大所高所の視座で
ローカルを考える

多様性・寛容性

文化ホール1.0
一般的なイメージ

①施設提供_(貸館)

できませんではなく
代替案を提案

サービス&アドバイス

文化ホール2.0
文化に力を入れている

②鑑賞・体験

鑑賞・体験する
機会を提供

誰のため・何のため

文化ホール3.0
劇場法・文化芸術基本法

⑤新しい広場

常に開かれ、多様な
交流を生む場

文化的コモンズ

③育成

表現者、裏方、
団体を支援する

住民が能動的に関与

④創造

地域題材を共有・
編集し創造発信

創造過程で人が成長

⑥世界への窓

大所高所の視座で
ローカルを考える

多様性・寛容性



2. 文化ホールがもたらすもの

- みの～れを事例に -



小美玉市四季文化館みの～れ



住民が輝く先進事例として地域創造大賞(総務大臣賞)



年間30を超える、全国で講演&全国から来訪

みの～れ組織体制／現14プロジェクト

【令和6年4月1日からの体制】

四季文化館 みの～れ

四季文化館企画実行委員会 (10人)

- 住民アーツカウンシル
- 自主事業のジャッジ／館運営ルールの見直し

住 民

みの～れパートナーズ (262人)

文化協会

企 業

学 校

商 工 会

文化教育検討委員会

四季の里演劇祭 4名

まる市 4名

ときめき美の小径 5名

チームBIRDの森 5名

光と風のステージCue 9名

さくらフェスみの～れ実行委員会 5名
春の一大祭りを企画

みゆ〜じつ〜☆すた〜と 8名
中学生が0歳からの参加型事業を企画

ContiNEW 25名

OMT-JAPAN 11名
うち高校生以上 10名

みのり太鼓 43名
うち高校生以上 23名

演劇ファミリーMYU 88名
うち高校生以上 37名

スタッフエッグ 4名
舞台技術

みのんば編集局 9名
記者7名
カメラ2名

公演スタッフ 42名
その他 Myu37名
太鼓23名
OMT10名

芸術鑑賞とアウトリーチ

全国公募型演劇フェス

クリエイターのマルシェを企画

館内通路展示を企画

未就学児アート体験を企画

ドリンク付ライブを企画

5名 春の一大祭りを企画

中学生が0歳からの参加型事業を企画

マーチングバフォーマンス

大道芸・バフォーマンス

創作和太鼓

ミュージカル・演劇創造

舞台技術

広報誌取材・撮影

フロント運営



みの〜れパートナーズ(262人)



フロント運営「公演スタッフ」



おみたマガジン編集部「みのんぱ編集局」



住民劇団「演劇ファミリーMyu」



創作和太鼓「みのり太鼓」



みの〜れパートナーズ(262人)



中学生プロデュース「みゅ〜じっく☆すた〜と」



小学生のための金管楽器教室



チームBIRDの森



ドリンク付ライブ企画「光と風のステージCue」

みの〜れと言えは“住民参画”

住民参加・行政主導

- ↓
- ・館がお膳立てした仕組みに住民が参加・体験
 - ・あらかじめ決めた範囲で活動
 - ・職員に求められる熟練度：低



住民参画・共創(きょうそう)

- ↓
- ・ゼロから一緒に企画。ルールも一緒に決める
 - ・責任分かち合うパートナー。やりがいも感じる
 - ・行政の役目→「対話の文化」をインストール



住民主体・行政支援

- ・「対話の文化＝話し合いの作法」を体得したメンバー
- ・対話型住民リーダーが牽引
- ・行政の役目→情報共有、広報支援





住民の主体性をアップするための制度改革



- みの〜れ14住民プロジェクトが毎年プレゼン(毎年プロジェクト改廃あり)
- 1位から要求予算を総取り。下位1〜2チームは予算無し
- 評価するのも住民委員(2年に一度改選。半数が入れ替わる)

住民の主体性をアップするための制度改革

■ 評価のポイント

- ① 新たな人材獲得の工夫
- ② 参加・参画のしやすさ
- ③ 地方創生の視点
- ④ 提案事業の独自性
- ⑤ 横断的な取り組み姿勢
- ⑥ 情報発信の姿勢・体制
- ⑦ 経済効果・経済波及効果
- ⑧ 実施体制の主体性と力量
- ⑨ 事業コストの独自調達

 ① 新たな人材を獲得するための工夫 ☑ 待ちではなく攻めの姿勢になっているか ☑ ターゲットを絞り、的確に訴求しているか ☑ 獲得手法は工夫されているか。的確か	 ② 新たな人材の参加・参画のしやすさ ☑ 参加のハードルは低く工夫しているか ☑ 子ども～30代までが参加・参画しているか ☑ 新規者の活動役割が明確化されているか	 ③ 地方創生の視点 ☑ 在住、出身者、市にゆかりのあるアーティスト・クリエイターを起用しようとしているか ☑ その人と子ども・学生との接点を作っているか
 ④ 提案事業の独自性 ☑ どこでもよくある企画でないか ☑ 単に流行を追ったものでないか ☑ なぜみの～れで実施するのか説明できるか	 ⑤ 横断的な取り組み姿勢 ☑ 他事業や他チームとコラボしているか ☑ 社会課題に取り組むor小美玉市の長所を伸ばすため他分野とのコラボを考えているか	 ⑥ 情報発信の姿勢・体制 ☑ 独自の情報発信体制を備えているか ☑ 日頃から活動や取り組みの発信をしているか ☑ 過去事業でマスコミで取り上げられているか
 ⑦ 経済効果・経済波及効果 ☑ 小美玉にお金落ちる仕掛けをしているか ☑ 関係人口（出身者、関係者、リピーター、ふるさと納税者等）が増える仕掛け・工夫	 ⑧ スケジュール・実施体制の主体性と力量 ☑ 全体スケジュールどおり進められる体制か ☑ チームに主体性は備わっているか ☑ 企画力、企画遂行力があるか	 ⑨ 事業コストの独自調達 ☑ 予算は妥当かどうか説明できるか ☑ 市補助金以外（入場料、参加費、広告、寄付、助成金、物品寄付等）も獲得しようとしているか

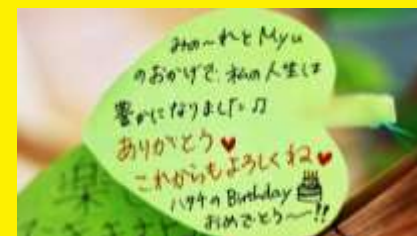
- チーム改廃が活発化→新陳代謝
- 他チームの運営を観察・取り入れるようになる



制度改革の成果



- 新たなプロジェクトを起こしたり、横断的に取り組むチームが複数現れた
(対話型リーダーのプロジェクトが成長)
- プレゼン、企画、資金獲得を得意とする人がチーム内で重宝されるようになった
- “越境”する高校生・大学生たちが現れた
(映画づくり、観光大使、学生ライター、留学)
- 視察、講演、インターン、研究者来訪→増
住民自身が語り出している





石岡市→みの～れ 参加参画している人たち



shikamo to mabaki ga
suki na koto wa

こんな大人になりたいと思える大人が
ここにはたくさんいる

みの〜れはサードプレイス

安富由紀子 さん

保健師・看護師／2023年4月 起業

- キーマンがMyuを支えている人と知る
- 子どもと一緒にMyuに入団
- 自分についての余計なものが剥がれていく
- 子どもも大人も年齢関係なく本気
- 刺激を受け、磨き合って、とても充実
- Myuの一員でいられて幸せ



自分を受け入れてくれて、役割と場を与えてくれる

みの～れはサードプレイス

武石春空さん

小学校事務員

- 幼稚園年長からMyuに入団
- みの～れと同じ年
- 母娘共に劇団内の中核スタッフ兼キャスト
- 出演者70人の振付を仕切る
- 中学時代に年下の指導を任された経験
- 先輩の姿を見て自然に教え方が身につく



尊敬する人がいる環境で、認められて成長

みの～れはサードプレイス

齋藤友幸 さん

10年前に移住／町内インフルエンサー

- 趣味のサイクリングを生かし、市内の風景、催事をデジカメ背負って出かけている
- 住民劇団Myuの広報部に誘われ参加
大学生たちと5人で活動
「齋藤じい」と呼ばれる愛されキャラ
- 駅前で「齋藤じい～」と高校生が呼ぶ声



みの～れに関わり“孫”がたくさんできた



参画者はもちろん
小美玉市民が圧倒的に多いです

みの～れはサードプレイス

安達将伍さん

建具職人／組子クリエイター

- 88年続く建具職人4代目。全国優勝経験
- 組子クリエイターとしてマルシェ参加
- 仕事では出会えないつながり
- 多様な人たちとの対話が本業に活きる
- 多様な価値観に触れ、視野が広がった
- このまちが好きになった



地域の人たちと仲良くする振る舞い方を覚えた

みの〜れはサードプレイス

滑川 瑞穂さん

フォトグラファー

- 人物撮りが得意なフォトグラファー
- シティプロモーション→みの〜れへ
- ついつい時間を忘れて夢中になっちゃう
- 一人の人間としてのつながりが広がった
- 人前で意見が言えるようになった
- 自分の企画で笑顔を生む最高の体験



みの〜れに関わるようになって、私の人生が輝き出した



廣木 葵

俳優・モデル・演出・振付・ワークショップデザイナー



いま私の体は東京にあるけど
魂はいつも小美玉にあります

みの～れライフのすすめ

- 地元新聞販売店ミニコミ紙に月1回連載
- 現在 207人！ 市民記者藤田さん18年間継続

周りをぱっと明るく照らすコミュ達人



市民記者
藤田佐知子さん



みのり太鼓 楽み(54)

さ か おり
す 佐 香 織 さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.203

旧姓が「真柄(まがら)」という珍しい姓だったこともあり、若い頃はどこへ打つても「あの真柄さんの娘か」と知られていることがちよつと嫌でした(笑)と言う藤田さん。今は「両親に感謝しています」と語る、充実した小美玉暮らしを満喫。持ち前のコミュニケーション力で周りをぱっと明るく照らす、小美玉市北浦区にお住まいの藤田香織さんにインタビューします。

繋がり気づき 感謝の心に

「当時は子どもがいっぱいた」という江戸住宅で育った藤田さん。小学3年生から鼓笛隊に入り、習字、絵画、ピアノ、そろばんに違い、習い事の毎日。「子どもながらに忙しかったけど楽しかった」と振り返ります。ピアノと鼓笛隊が中学の吹奏楽部に、そろばんが金融機関への就職に繋がりで、「習い事がその後の人生に影響を与えてくれました。好きなことをやらせてくれた両親に感謝ですね。高校でも吹奏楽を続け、社会人になっても水戸市民吹奏楽団に所属し、出産を機に辞めるまで続けました。」

若い頃は美野里町から出たくて仕方がなくて、結婚して荒川沖に住みました。しかし、子どもが生まれ、働きながら育てるのはとても大変で「土地と家を見つけたから戻ってきたら」という両親の甘いさやきに心が動いてしまつて(笑)北浦区に住むことになった。

子どもを結婚保育園に入れたとき、先生が母の知り合いで、声をかけてくれたことが大きな安心感に繋がりました。人となりがいいな、と思えたんです。子育てをするようになって、その「知って欲れている」が安心感になって「ああ、地元に戻ってきた良かった」と思いました。しみじみ、「今は地元に戻るきっかけを作ってくれた両親に感謝しています。あ、両親に感謝しっぱなしですね、私」と笑顔。

和太鼓との出会いは、納場保育園でやっている和太鼓教室に子どもが入ったことがきっかけ。子どもがみのり太鼓に入り、練習を見守るうちに自分でもやってみたい

(藤田佐知子)



「奇跡のようだね」

と、よく言われます。

これを実現できているのは、

- 対話の文化を体得しているから
- いい話し合いができているから



みの～れからいい話し合いを
リードできる人材を生み出し、
次世代の地域の担い手を育む

みの〜れ20歳記念ムービー



私は、中継ぎです

みんなで次のハタチへつながろう(5分15秒)



みの～れが育んでいる
「対話の文化」が
市内外へ広がり
次々と成果を生んでいます



小川文化センターアピオス改革

【県内最下位の大ホール稼働率を爆上げ】



小川文化センターアピオス



フツウの人が“なりきりスター”に
「小美玉発! スターなりきり歌謡ショー」



目の色が変わる職場体験「えほん de show !!」



魔法のトンネルをくぐる「おやこDEジャズ」

H21～住民と行政の共創(対話の文化)導入

【住民参画体制】S57年開館／1200席・300席
小川文化センター活性化委員会
アピオスぱるず(フロント、飲食運営等)

大ホール稼働率

改革前(H20)

3年後

14.7%



78.0%



地方創生 「ダイヤモンドシティ小美玉」

【庁内若手職員に対話の文化を注入】



ダイヤモンドシティ・プロジェクト (地方創生)



植田麻子

1



恋愛・結婚



3



仕事創出



沼田譲治



原田啓司

2



まちの魅力



ダイヤモンド
シティ
小美玉
シテイ
みづける。
みがく。
光をあてる。

4



移住・定住



清水弘司

みの〜れで対話の文化の腕を磨いた若手職員たちが牽引



一人ひとりがダイヤになる



茨城県の広報のトップを招いた情報発信セミナー



第1部：情報発信セミナー 第2部：異業種間交流





一人ひとりがダイヤになる



小美玉マーケティングスクール





一人ひとりがダイヤになる



公共コミュニケーション学会 茨城部会



県内自治体職員や研究者と小美玉市民が「みの〜れ」を研究





第1回全国ヨーグルトサミット

【市内多業種青年層に対話の文化を注入】

みの〜れ育ちの住民と職員がキーマンに

酪農協、ヨーグルト工場、農業青年クラブ、商工会、観光協会、青年会議所
 子育てママサークル、カフェオーナー、クリエイター、劇団、大学生、市職員



㊤ 激混み!全国ヨーグルトサミット ㊤



激混み!全国ヨーグルトサミット





全国初!ヨーグルトサミット



YOGURT SUMMIT

第1回全国ヨーグルトサミット in 小美玉

2018.10.20-21



イメージモデル 廣木 葵さん
(小美玉市出身の女優・モデル)

- 全国108種類が集結!
 - 研究交流セミナー
 - ヨーグルトミュージカル
 - ヨーグルト足湯・ハンドパック
 - ヨーグルトづくしの2日間
- 2日間39,000人来場!**



住民主体のシティプロモーション

【“まちにマジになる人”を増やす 対話の文化】



ヨーグルトサミットを終えて



Omitama Shigoto ～仕事+私事+志事～



まさにマジになる人を応援する市民チームができた

市民チームが「勝手に」まちの魅力を配信

Omitama Times

茨城県小美玉市のローカル情報をお届けするライブ配信番組。
月1回 YouTube と Facebook ライブで配信中！
ぜひチャンネル登録をお願いします。



Vol. 1 番組はじめました！
メンバー自己紹介



Vol. 2 小美玉市 PR 動画 &
RIKAハロウィンイベント紹介



Vol. 3 おみたまクッキング！
旬のれんこん料理



Vol. 4 茨城空港 特集！





まちのオススメ記事を書く市民メディア





繋がりがだした地域のクリエイターたち



おみたまデザイントーク



クリエイター同士が話す場。まちのデザインを考える



映像で日本一受賞



2019年全国広報コンクール映像部門 特選・総務大臣賞



酪農カッコいい！ 動画「小美玉ヨーグルトストーリー」



全国トップ5!



2020年全国広報コンクール映像部門 入選

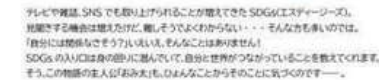


ダイヤモンドシティ小美玉2020(2分9秒)



全国トップ5!

2021年全国広報コンクール広報紙部門 入選



地元クリエイターとコラボしたSDGsマンガ広報紙



エシカル消費＝買い物で地域・社会・環境に貢献



小美玉オフサイトミーティング



対話の文化を庁内外に広げるナナメの関係



中本正樹



沼田譲治



安富由紀子



代々城衣里



鈴木篤史



大場 瞬



岡田勇太

実施例：キャリアデザイン、組織運営
10年後の未来、観光、コーチング
ビブリオトーク、これからの自治会ほか

■レギュラー：毎回参加。企画できる
オープンorクローズ

■準レギュラー：好きな回だけ参加



月刊ガバナンス
R4.5月号
掲載

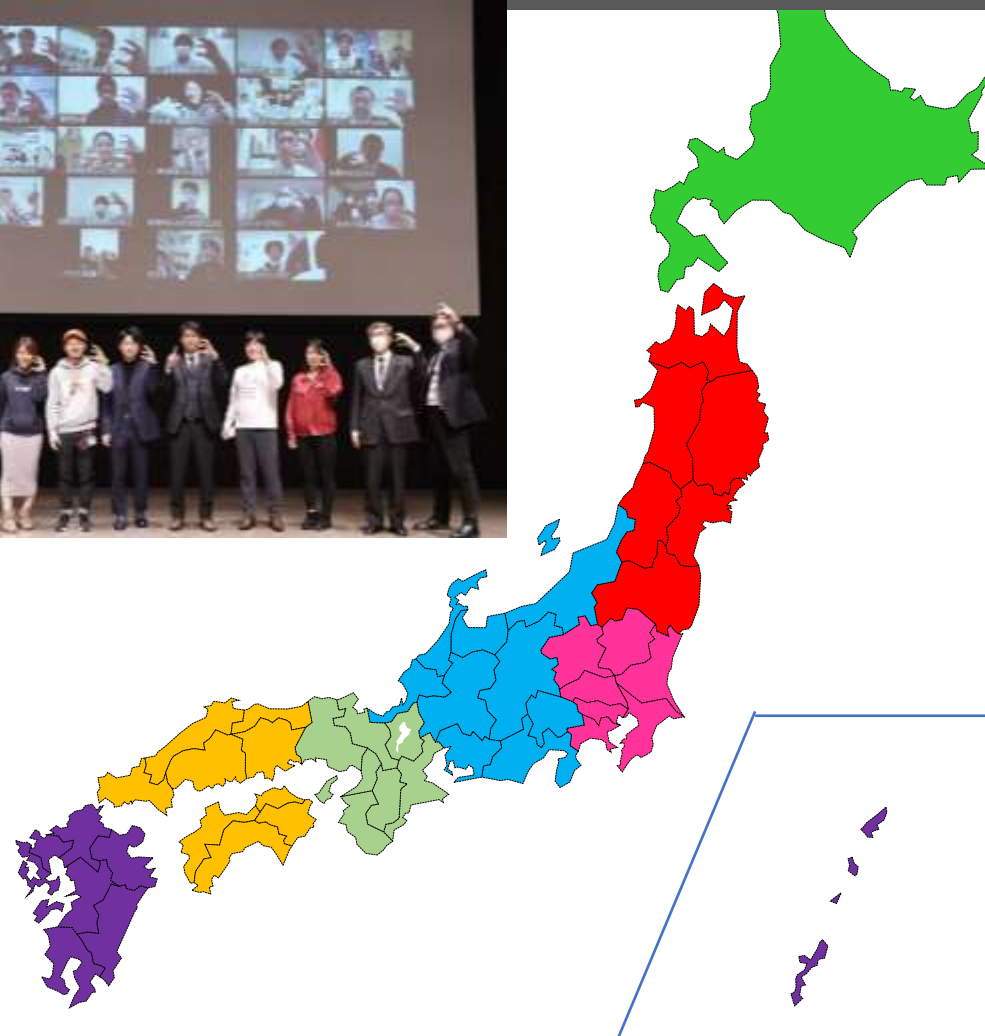
公共コミュニケーション学会茨城部会

茨城県内自治体に広がる仲間の存在



全国ヨーグルトサミット・ネットワーク

全国のヨーグルト業界に広がる対話の文化



専門家たちが選ぶ全国初の表彰で最高位を受賞



シティプロモーションアワード

小美玉市は、「シティプロモーションアワード」で昨年、金賞を受賞したことを記念するトークイベントを29日、同市部署の四季文化館のくいで開催する。「市民が語る！小美玉の元気のヒミツ」と題し、市民5人のプレゼンテーションやトークセッションなどを予定。会場定員50人とオンライン（定額なし）で参加者を募集している。

29日のイベント参加者募集

と認められた金賞は全国11都府県の13団体、県内では同市のみが受賞した。トークイベントは①プレゼンテーション②トークセッション③会場の参加者同士のトークという内容。プレゼンテーションは、R・K・Aチヨウキアティスト、都立大学学生、みのもね劇団M所長、斎藤友幸（サイクリスト）、田村愛理子（タワンジャーナル小美玉編集長）、東木美安（モテル）の各氏が、それぞれ10分間ずつ、自らの活動を小美玉の魅力発信との関わりで説明する。トークセッションは、市のシティプロモーション推進協議会長の飯手新吾さんがファシリテーターとなる。

トークイベントをPRする小美玉市出身の女優、廣木愛さん（左）と担当する市職員の中本正樹さん＝同市部署



DIAMOND CITY OMITAMA

ダイアモンドシティ
小美玉
見つける。
みがく。
光をあてる。

半。参加は中学生以上が対
の2人が登壇する。廣木
愛。市民が舌をかわらな
い。無料だが事前申し込み
が必要。申し込みは市のホ
ームページにリンクしたフ
ォームに氏名、連絡先など
必要な項目を入力して送信
する。（佐川友一）





うまくいっているところは 何をしているか



みの〜れで住民と語り続けた中本調べ

1. “**かかわりしろ**”の設計がうまい

- **その人が輝ける場**を巧みに提案
- **不完全であること**を魅力にしている



2. “**言語化しよう**”と磨き続けている

- **どんな経験**ができるか
- **どんなスキル**が身に付くか





参考事例





① えずこホール(宮城県大河原町:広域事務組合)



- えずこキャラバン:プロ、住民G
- 企画系職員、異動しない ■ 総務系職員、3年周期
- 助成金獲得した分丸々上乘せ

地元の暮らし楽しく描く

27、28日 大河原で公演

仙南地域の住民劇団「えずこシアター」の第19回公演「パンとギターとこけしとわたし」が27、28の両日、大河原町のえずこホールで開かれる。本番を間近に控えた団員たちは、練習に力を入れている。

今回の演目は仙南地域の住民の暮らしを描いた創作劇。出演者が白石市のこけし職人や大河原高(大河原町)のギター部、角田市のパン店に取材し、せりふや動きを考えた。歌や踊り、笑いも交え、楽しい作品に仕上がっている。

出演者が取材 せりふ考案

初めて出演する丸森町の会社員坂本友美さん(31)は「演技の練習によくやく慣れてきた。本番はテンションを高くして頑張りたい」と意気込む。

えずこシアターは、5月に2度目の韓国公演を果たすなど活動の幅を年々広げている。

開演は27日が午後2時半と7時、28日は2時半のみ。入場料は25歳以上が1500円、24歳以下は700円。当日はいずれも100円増。未就学児は入場不可。連絡先はえずこホール0224(52)3004。

仙南地域を中心とした10、70代の会社員や主婦ら22人が出演する。23日は、演出を担当する劇団「山の手事情」(東京)の俳優倉田淳さんの指導を受けながら、それぞれの演技を確かめた。



②長久手市文化の家(愛知県長久手市)



- 役所内で「異動したい部署トップクラス」
- 企画系に専任職員がいる(10歳おきに採用)
- 文化の家フレンズ(年会費1,500円)
 - フロント運営(人の手配・配置も行う)
 - 友の会(先行予約、割引、情報誌郵送)

③ 武豊町民会館 ゆめたろうプラザ (愛知県武豊町)



- 住民劇団、住民ビッグバンド
- 知多半島で春の音楽祭→文化と観光
- **NPOが事業担当。知識と経験を蓄積**
- 館長は名古屋芸術大学学長

【建設中】④丸亀市みんなの劇場(香川県丸亀市)









「よこぐし」の アートマネジメント講座

福祉・芸術・教育など様々な分野の課題を、文化芸術が関与（よこぐし）となつてつながら解決に向かうためのアプローチを考えるための講座です。文化芸術が個人や社会に与える影響を学び、参加者同士で考え合います。地域と社会をより良くしていくことに興味がある方はぜひご参加ください。

参加無料 **要事前申込**

対象 どなたでも参加可能
定員 20名
申込 応募フォームより
 事前申込をお願いします

※4月以降の開催ですが、後日の開催も可能です。

① レクチャー 考察

文化芸術活動の“個人に与える変化”と“社会に与える影響”について考えます。

日時	12月10日(日) 13:30~17:30
会場	丸亀市南所2階201,202会議室




講師 大澤真樹さん
講師 新井英夫さん

② レクチャー・ミニワーク 気づき

コーディネーターや気づきについて学び、共有します。

日時	1月7日(日) 13:30~16:30
会場	丸亀市保健福祉センター【ひまわりセンター】4階研修会議室1,2



講師 石川博隆さん



- 市民活動でファシリテーションを学んだ野球出身の課長が奮闘中
- **文化芸術愛好家とだけでは作らない**
- 徹底して“会館から遠い存在”の人と対話
- **住民の主体性を育む拠点に**





文化政策が何を生むのか



人を育て、心を動かす力を活かす

- 圧倒的に女性の参加参画を得やすい【地方創生】
- 対立を対話で乗り越える力を養える【SDGs】
- 福祉、教育、観光等の多分野をつなぐ【SDGs】
- シビックプライドを高める【シティプロモーション】
- 関係人口を増やす【地方創生】

自治体の
課題に
アプローチ
しやすい



他分野への人材波及 (文化芸術基本法2017年改正の重点)

- 福祉: ボランティア、民生委員
- 教育: こどもアート体験、中・高・大学生が担い手に
- 観光: 観光大使、体験型観光企画の担い手
- 自治会・コミュニティ: 次世代の担い手
- シティプロモーション: まちの魅力を生み、語れる人材

施設を貸したり
鑑賞しただけでは
こうはなりません



文化ホール1.0
一般的なイメージ



①施設提供(貸館)

できませんではなく
代替案を提案

サービス&アドバイス

文化ホール2.0
文化に力を入れている

②鑑賞・体験

鑑賞・体験する
機会を提供

誰のため・何のため

文化ホール3.0
劇場法・文化芸術基本法



⑤新しい広場

常に開かれ、多様な
交流を生む場

文化的コモンズ

③育成

表現者、裏方、
団体を支援する

住民が能動的に関与

④創造

地域題材を共有・
編集し創造発信

創造過程で人が成長

⑥世界への窓

大所高所の視座で
ローカルを考える

多様性・寛容性